

ているる図書情報室 2階

NEW 10月の新着図書



書名	著者	テーマ	書名	著者	テーマ
中城村の沖縄戦 証言編 上・下巻	中城村教育委員会生涯学習課文化係 編集	郷土	夏きもの遊衣図鑑	辰巳出版	ファッション
沖縄語新聞18年の軌跡	沖縄県沖縄語普及協議会設立20周年記念事業実行委員会	郷土	七緒 着物からはじまる暮らし vol.26	プレジデント社	ファッション
家族のための認知症Q&A	新井平伊 監修	認知症	はじめてでも上手に作れる! ハーバリウムづくりの教科書	平山りえ 著	趣味
レピー小体型認知症がよくわかる本	小阪憲司 監修	認知症	断捨離アンになるう! モノを捨てれば福がくる	鈴木淳子 著 川畑のぶこ 原案	コミック
介護現場ですぐに役立つ! タイプ別対応がよくわかる認知症ケア	熊谷頼佳 著	認知症	妻が口をきいてくれません	野原広子 著	コミック
眠れないお年寄りへのケア	田ヶ谷浩邦 著	睡眠障害	Pluto (1巻～5巻セット貸し)	浦沢直樹 手塚治虫 著 手塚眞 監修	コミック
「腸を温める」と体の不調が消える	松生恒夫 著	健康	田部井淳子の人生は8合目からがおもしろい	田部井淳子 著	趣味 自己啓発
本当の自分に出会えば、病気は消えていく	梯谷幸司 著	健康 心理学	こちらの事情	森浩美 著	文学
働く女子の自己投資ライフ	日経BP	自己投資	蓬莱	今野敏 著	文学
AI時代の人生戦略:「STEAM」が最強の武器である	成毛眞 著	自己啓発	警視庁FC	今野敏 著	文学
働く女子たちの記録: 21世紀へ次代を紡ぐ(公募編)	関西女の労働問題研究会 編集	女性問題	無名	沢木耕太郎 著	文学
看護師も涙した 老人ホームの素敵な話	小島すがも 著	介護 社会学			

ご予約は
スタッフまで



ているるHPから蔵書検索もできます!
<http://www.tiruru.or.jp/facility/library.html>

新設!! スタッフおすすめコーナー



人新世の「資本論」
斎藤 幸平 (著)
331.3 / サ

近年メディアに多く取り上げられるようになった「SDGs」。SDGsと聞くとクリーンなイメージがわき、それを実践していることを詠う企業や個人にはポジティブな印象を感じるかもしれません。しかし、ただ盲従的に「SDGs」を実践しているだけではあまり意味がない、もしくはその肯定感ゆえにさらに地球環境の悪化へと繋がってしまうと本書では主張します。「環境問題」や「SDGs」の本当の問題点を明らかにし、それらを克服するためのヒントを与えてくれます。少し難しい章もありますが、難しいところは飛ばしながらでも、読んで損はないと思います!



小説8050
林 真理子(著)
913.6 / ハ

最近話題の「8050問題」に関心をもっていたので読んでみました。中学生のときに引きこもり、7年間引きこもりつづける息子をもつ大澤家。隣近所が「8050」状態にあったことを知ったことをきっかけに息子を引きこもりから脱却させようと父は奮闘します。しかし引きこもった息子には簡単には癒せない大きな傷がありました。「8050問題」の現状を風刺的に描いた小説かと思いきや、そうではありません。ですが、現代の家族のあり方、家族との向き合い方について考えられる本です。



ヘルプマン!
くさか 里樹(著)
726.1 / ジ

最近福祉の分野に興味を持ち始めたのですが、資格の勉強をしたいわけでもないし難しい本を読んで福祉の理論を理解したいわけでもない…。という気持ちでどんな本から手をつけていいか考えあぐねていたときにたまたま見つけたこの漫画。ギャグ漫画のようなテイストですが日本社会に蔓延る介護の問題の本質まで、かなり深いところまで描かれている(と思われる)漫画です。かなり面白いのではありません! 注意です!!



空中ブランコ、町長選挙
奥田英朗 (著)
913.6 / オ

精神科での治療といえば薬を処方したり患者の話を聞いたり…といったものをイメージしますよね。この本の舞台は精神科であるため、少し暗い話なのではないかと考える方もいると思いますが、まったくそんなことはありません。むしろその反対です。伊良部医師は注射見たさにビタミン注射はしますが、処方箋はだしません。とりあえず話は聞きますが親身に聞き入ったりはしません。彼はときに、一見患者の症状を悪化させそうな「治療」も行います。果たして伊良部医師は優秀な医者なのかそれとも藪医者なのか、コミカルなストーリーを楽しみながらぜひ皆さんで判断してみてください。



上野先生、勝手に死なれちゃ困ります 僕らの介護不安に教えてください
上野 千鶴子、古市 憲寿 (編)
369.26 / ウ

上野千鶴子と彼女の元教え子の古市憲寿による対談を書いた本です。親子ほどの年の差がある二人の社会学者が、現代日本が抱える介護の問題を中心に家族やジェンダー、福祉制度などについて語ります。対談のなかでそれぞれの著書の内容をもとに話を進めることもあるため、気になった方はその本を読んでみるとさらに介護や福祉の問題について理解が深まるかもしれません。戦後の時代を生き抜いた上野千鶴子の厳しい言葉と現代の「若者」である古市憲寿のクールな態度の掛け合いが面白いです! ぜひ読んでみてください!



健康で文化的な最低限度の生活
柏木 ハルコ (著)
726.1 / カ

こちら『ヘルプマン!』と同様、福祉のことをよく知らない時期に読んだ漫画です。「健康で文化的な最低限度の生活」は日本国憲法において保障されている個々人の権利ですが、まず「健康で文化的な最低限度の生活」ってなに? それぞれは誰が、どのように守っているのか。全然他人事じゃない、現実感溢れるストーリーの漫画です。



スポーツニクの恋人
村上 春樹 (著)
913.6 / ム

小学校の教師を務める「ぼく」と、ぼくが愛する「すみれ」。この物語はぼくに視点がおかれたすみれとの「ラブ・ストーリー」として知られているようです。ですが、ぼくの考えやすみれの豊かな表現、そして彼らの会話ででてくる音楽など「ラブ」の以外にも楽しめる要素はたくさんあります。ゆっくりとした日常から予想もできない展開になりますが、ストーリー全体に、そこはかとなく漂う気があります。読了、結果を知ったうえで読み直したくなる一冊です。

ているる2階図書室
カウンター前に
設置しています!
ぜひ見せて
ください!

